

2022年度
GRL企画展示

「女医」の近代

日本女医会『日本女医会雑誌』第92号
「東京女子医専夏季無料診療事業」(1939)
第一会期展示史料

～戦前期日本における女子医学専門学校の経験～

【会期】2022年12月14日(水)～2023年3月15日(水)

10:00～17:00 ※日曜日、月曜日、祝日、年末年始は閉館

期間中、3シリーズの展示を公開(時期により展示内容が異なる)

【会場】名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ(GRL)1階閲覧室

【入場】無料

【主催・お問い合わせ】

名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ

URL: <https://www.grl.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/>

E-mail: grl@adm.nagoya-u.ac.jp

GRL

名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ
Gender Research Library Nagoya University





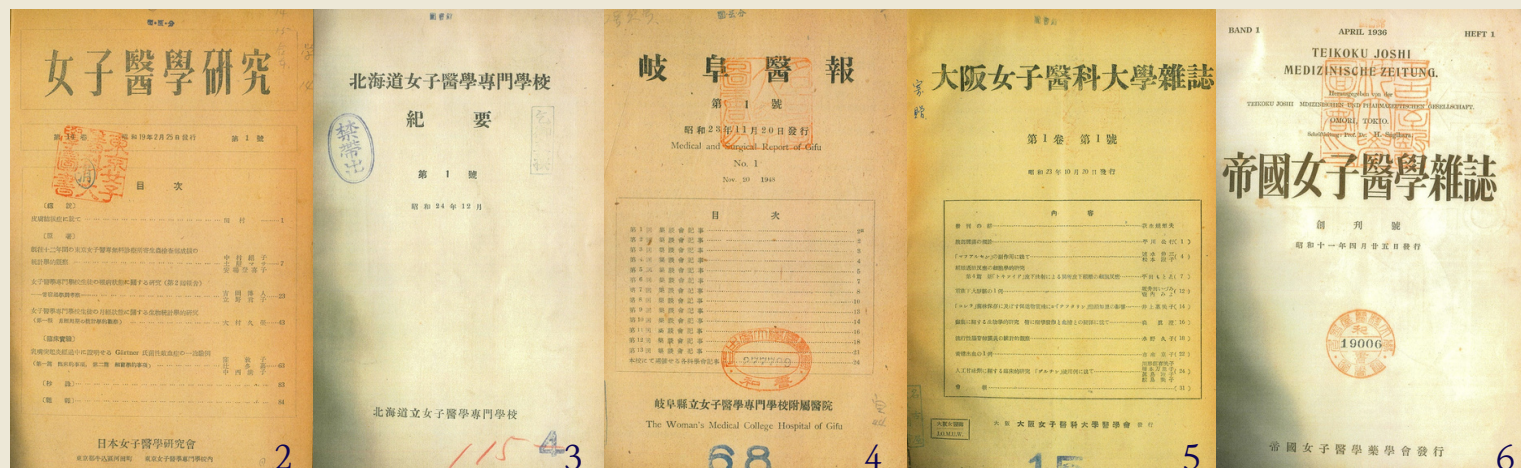
「女医」の近代

～戦前期日本における女子医学専門学校の経験～

**職業婦人、「リケジョ」の先駆けとして近代日本を生きた女医たちと
その基盤となってきた女子医学専門教育に迫る！**

近代社会における「女医」（女性医師）の誕生は、19世紀から20世紀にかけて世界で同時代的に生じていた。それまで近代医学の担い手として男性が想定されてきたが、医学教育と医師国家試験の門戸を開くよう働きかけてきた女性たちがいたのだ。女医たちの歴史は第一波フェミニズムともいわれる女性解放運動ともかかわりあいながら、女性の社会進出や、女性への理系教育の先駆けとしても発展してきたものであった。

女医の誕生を世界各国と比較してみると、日本の場合、女性たちが自ら女子のための私立の医学教育をつくりあげたことに特徴がある。戦間期になるとその功績が認められたことや、総力戦体制における女性の役割が期待された背景により、公立の女子医学専門学校が各地につくられていった。本企画展は、名古屋大学附属図書館医学部分館に所蔵されている、私立、公立それぞれの女子医学専門学校の史料や、名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ水田珠枝文庫所蔵の史料から、戦前期を生き生きと駆け抜けた女医たちの歴史を紹介する。



- 1) 日本女医会『日本女医会雑誌』第92号「会報」挿絵 (1939) 2) 日本女子医学研究会『女子医学研究』第1号表紙 (1944)
3) 北海道女子医学専門学校『北海道女子医学専門学校紀要』第1号表紙 (1949) 4) 岐阜県立女子医学専門学校附属医院『岐阜医報』第1号表紙 (1948) 5) 大阪女子医科大学医学部『大阪女子医科大学雑誌』第1巻第1号表紙 (1948) 6) 帝国女子医学薬学会『帝国女子医学雑誌』創刊号表紙 (1936)

～展示スケジュール～

企画1：12/14（水）～1/18（水）

「女子医専の誕生：東京女子医学専門学校」

企画2：1/25（水）～2/15（水）

「女子医専の発展：植民地への広まりと、公立女子医専の誕生」

企画3：2/22（水）～3/15（水）

「女医の社会的な活動の展開」

【開催情報について】

企画展示についての開催情報変更や、イベント開催については、
名古屋大学GRLウェブサイト、
公式Twitter、Instagramでお知らせします。

<https://www.grl.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/>

**担当研究員による
ギャラリートーク開催！**
※定員15名事前申込制
詳細はGRLウェブサイトから



Twitter
@ grl_nagoya

Instagram
@ grl_nagoya

